

左巻き大ヒノキの樹勢診断結果を踏まえた今後の対応策案

(令和元年度 樹勢診断結果)

樹勢診断結果

- ① 尾根に生育しているため、気象害（風害・潮害）による傷害（白骨化）の発生が見られる。今後急激に変化する可能性は低いが、台風等の後には特に注意して確認する。



位置図

周辺の環境整備

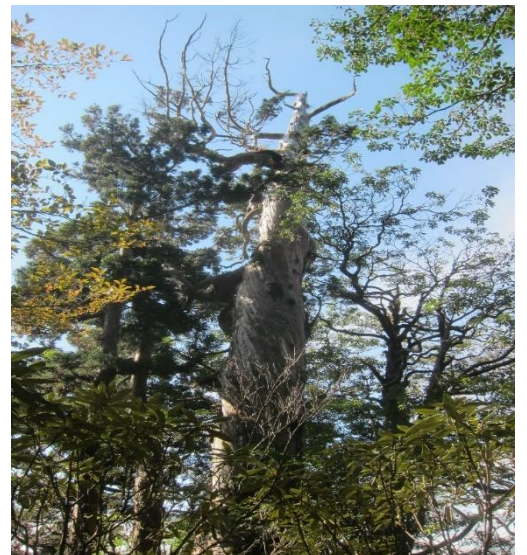
- ① 周辺の歩道では、踏圧により下層植生が消失し洗掘が見られる。歩道脇の礫や倒木等を歩道に敷き詰め浸食の防止を図る。
- ② 接近しているスギの枝の一部を剪定すればヒノキへの光環境の改善が期待される。しかし、当地区は森林生態系保護地区であり、剪定等を行わず推移を見守る。



歩道より樹幹部



ヒノキ上部の白骨化(東面)



隣接するスギがヒノキに接近している状況(南面)